

研究実施のお知らせ

2025 年 6 月 24 日 ver.1.0

研究課題名

人工股関節全置換術および人工骨頭置換術後の大腿骨ステム周囲骨折に対する Exeter ステムによる再建術の有効性を明らかにする後方視的多施設研究

研究の対象となる方

2003 年 4 月から 2024 年 3 月の間にこの研究に参加する機関で人工股関節ステム周囲骨折と診断され、Exeter ステムを使用して再建手術を受けられた方

研究の目的・意義

股関節の変性疾患である変形性股関節症の患者さんの手術治療の中心である人工股関節全置換術（THA）は年々増え続けて年間 7 万件以上が行われています。また高齢者の転倒による大腿骨頸部骨折に対しても THA または人工骨頭置換術（BHA）が施行されますが、高齢化に伴ってその数は増加傾向にあります。THA/BHA の重大な合併症のひとつに、大腿骨に設置した人工関節の周囲での骨折であるステム周囲骨折（PPF）があります。PPF の治療は、手術が難しく、手術に伴って様々な合併症を起こす危険性が高いことが分かっています。PPF に対する再手術には、手術の方法および用いる機器の種類や大きさなどに多くの選択肢があり、どの方法や機種が優れているかははっきりと明らかになっていません。そこで、この研究では、初回の THA においては優れた臨床成績を収めている Exeter ステムを用いて PPF に対する再手術を実施した患者さんの手術成績を調査して有効性を検証するとともに、手術の成績に関連する因子を明らかにしていきます。これらを明らかとすることで、PPF の治療成績の向上の一助となり得ることが期待されます。

研究の方法

この研究では、研究に参加する機関の診療録から患者さんの年齢や性別、体格といった情報、および PPF に対する治療の内容、使用した Exeter ステムの種類やサイズ、術後の経過といった診療情報を収集し、情報記載したファイルを電子メールによって研究代表者のもとへ集めます。ファイルにはパスワードを設定すること安全性を確保します。このデータから、PPF に対して Exeter ステムを用いて手術を行った場合の再手術率、合併症発生率、術後死亡率を算出して手術成績を評価します。

研究で用いる情報は氏名、患者 ID を削除したうえで取り扱うため個人が特定させ

る心配はありません。

研究の期間

2025 年 7 月（研究許可後）～2027 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者：

島根大学医学部附属病院整形外科 門脇俊

共同研究機関

〔研究機関〕	〔研究責任者〕	〔研究機関の長〕
島根大学医学部附属病院	門脇俊	椎名浩昭
千春会病院	藤田裕	藤原仁史
浜松医療センター	岩瀬敏樹	海野直樹
山形済生病院	佐々木幹	石井政次
北海道整形外科記念病院	大浦久典	近藤真
愛知医科大学病院	森島達観	天野哲也

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

浜松医療センター 整形外科 岩瀬敏樹

〒432-8580 静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話 053-453-7111 FAX 053-452-9217